磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣石城郡小名浜町鳥居五一
電話代表三六七番 二一九番
振替仙台31,355番
編集兼発行人　長瀬芳郎

パージ解除の確定者
市郡は百九十四名
中央指定第一次發表さる

二十日午前九時半政府は第一次追放解除の發表を行つたがB項以下各追放該当項目のうち解除さるべき限界を明示するとともに中央指定二千九百六十名を發表した、知事指定分の解除については二十三日の地方課長會議に於いて具体的に示されるが解除確実とみられるのは二千三十三名でそのうち第一次發表は千九百七十名と予想されている、平並に郡下の解除者氏名は次の通り

【平市】井上吉男、飯野盛男、若松武、丹野甚市、青田目源一郎、上田耕作、薄葉金重、野木秀文、大山忠平、小野寺治雄、大谷好道、大山庄松、山崎忠兵衛、福田藤一郎、小泉勇夫、佐々木道典、諸橋敬一郎、鈴木新右衛門、鈴木泰久、鈴木與一郎、鈴木喜平、伊藤淺之助、市井正義、永山傳、永山篤平、大和田多門、山崎景一、白土正直、中野二郎 佐藤鉾一、佐藤庄太郎、鈴木爲次郎、松崎憲司、坂本一二、川又英二

【小名浜町】高木保、山野邊大藏、会田亮、作山安太郎、志賀要平、中西良雄

【湯本町】富樫勝秀、矢吹莊司、金土登、鈴木康平、黒羽彌介、木村平八郎、

【内郷町】大越一郎、大橋貞勝、島田兼吉、長谷川新、佐藤作藏

【植田町】高木芳男、根本彦治、牧野進、古川傳一、江尻源次、荒木芳男、三好彌太郎、馬上誠一、緑川秀准

【勿來町】猪狩幸一、田代信一、山岸久四郎、赤津一、赤津修一、安島峯三、坂本淺次郎、

【豊間町】久保木己之松、山野邊茂五郎、遠藤章、志賀重太郎、志賀四郎

【錦町】金成欣次、川内市太郎、高橋秀雄、大平菊次郎、赤津千里

【四倉町】長谷川勇助、豊田美孝、菅波林太郎、中野正太、

【泉村】佐藤源一郎、志賀澤之介 下遠野武

【渡邊村】高木善枝、粒來義夫、根本操、岡部宗平、安藤力 柴田肅太、

【山田村】大平芳介、遠藤孚一、秋山藏之助、鈴木光平

【上遠野村】生田目佐一、大野正、櫛田政人、後藤義弘、遠藤義雄、瀬谷俊次

【川部村】園部茂、八幡義枝、鈴木明、鈴木榮

【田人村】邊見光治、大津新一、緑川廣之助、蛭田榮太郎

【夏井村】箱崎義範、坂本登、渡邊泰衛、阿部義孝、青木年正、阿部太、鈴木春男

【高久村】本馬武、藁谷久太郎、野口秀雄、松本兵一、鈴木安治、鈴木泰男

【江名町】吉田茂、吉田正雄、太清左衛門、振旗弘

【鹿島村】鈴木一夫、波立忠興、國井幸文、赤坂稔、志賀直哉、三島五一郎

【磐崎村】磯上百吉、滝龜勝、滝義勝、高木常彌、遠藤芳徳、御代徳次

【好間村】金成淺治、金成義雄、吉田富、鈴木幟彌

【赤井村】川添榮馬、草野正一、草野正義、矢野清一、矢野恒平、松崎美松、平澤内記

【永戸村】藁谷久光、片寄彦七、高萩傳、会田正一、阿部友睦、佐藤壽麿、

【三坂村】大竹治右衛門、草野幹雄

【草野村】芳賀義雄、渡邊重彌、片寄周平、坂本仙次郎、大平喜一郎、作田稔

【大浦村】早川稚倖、新妻盛、根本三右衛門、酒井銀平、木村清治

【大野村】吉田榮一郎、吉田榮正、佐藤喜興一、木田織江、木村淑雄、門馬榮、鈴木虎之助

【上小川村】高木藤嗣、大森久平、櫛田政松、佐藤茂、鈴木彌七

【川前村】根本倉太、永山忠二、宇佐美徳重、大平七藏、矢内勉、佐藤薫一郎、木村平八郎

【箕輪村】阿部友睦

モノサシ
マス
ハカリ
体温計
寒暖計
小名浜町
資生堂
電147番

小名浜各種労組參加
町税検討の懇談會
近く町當局に要望書提出

小名浜在町の十勞働組合よりの代表は昨二十一日午前十時より日本水素工場勞働組合事務室に会合さきに設定された小名浜町税條例をめぐり懇談会を開催して同條例に対する勤勞者の立場としての考え方を結集、町當局に要望書を提出する事になつた

町税條例設定に際し日本水素勞働組合は六月七日町政の圓滿な遂行を希求する立場より公平な負擔額を民主的に査定するよう決議文を町當局並に町会議員に手交したが去る十四日の定例町会には一部議員の猛烈な反対を押し現行町税條例を可決したもので、本條例は勤勞者に対し極めて過重な負担と源泉徴收という勤勞者に對する侮辱的内容を持つたものであるとの觀点から本懇談会が開催されたものである、而して今後の在町勤勞者團体は一丸となり合法且紳士的態度を以て町当局に接渉し各種運動を展開する事となろう

本會合にて特に檢討された事項は

一、源泉徴收に対する報酬制と比率（内郷町では二〇%を還元している）の獲得

一、源泉徴收を受けるものが納税組合に加入している際、二重徴收を受けるので其調整の方法

其他であつた、なお町当局に対する接渉は次週第二次会合を開催し委員の選出、要望書の最終決定をする筈である

北臺町PTA 岩間で野外教育

植田小學校北台町部落PTAでは十九日岩間海岸に全學區内兒童約百名を集め、海草の研究會を開き紙芝居などを見せて一日野外教育を行つた、これについては町内の松本ひで、植頭ひで、山崎ため、栗田まち子さん等の熱心な運動が實を結んだもので、町内から感謝されている、なお東京堂文具店、双葉文具店等も學用品を格安に提供して居り一般から非常に喜ばれている

植田の都市計画線視察

縣都市計畫課福田技師、水戸鐵道管理部員等の一行八名は二十日植田町都市計画予定線の視察のため來植し、植田驛前通り及び磐城農業高等學校下の植田環状道路線の視察調査をなし渡邊課長外關係者と打合せをなし植田に一泊した

小名生協組 總會を開催

小名浜町生活協同組合では來る二十八日午后十二半より金星座に於て昭和二十五年度總會を開催して次の議題を協議する

一、昭和二十五年度決算報告及び承認の件

一、剰余金處分に關する件

一、其の他

なお当日は總會終了後組合員慰安の映畫鑑賞会を開くため全組合員の出席を希んでいる

さんまの陳情歸る
専門委員會の設置を要望

（既報）去る十一日平水産事務所で開催された、さんま漁業取締要綱（案）に対する反對漁民大会の決議文並びに内地側各縣連名の陳情書を携え中央水産審議會に提出交渉中の縣代表比佐、野崎、鈴木、佐藤、常松、小松、澤、吉田の各委員は昨二十一日歸縣した、中央水産審議会の接渉結果に就き比佐政種氏は左の如く語る

審議会の意向として内地側が北海道の特例を認めるなれば昨年の北海道の成績に對し六割まで漁獲せしめその線に達した時は北海道の漁獲は禁止する、解期は北海道八月十五日内地十月一日とし其間北海道より内地にさんまを輸送する際は輸送證明書のある者のみに制限する

なお今回提出された陳情書の要旨は

◎さんま漁業に精通する委員を内地北海道より選出し専門委員会を結成し本会にて決定した事項を中央審議会にて審議する制度を創設されたい

◎北海道漁船の違反監視のため内地業者二十名を北海道に駐在せしめ其費用は國費にて賄かなわれたい

平市で成人學校
受講者の希望科目を調査

晝間勤務の一般職業人の教養と技術の向上を計るため平公民館では新館の竣工と共に八月中旬から成人學校を開設することゝなつた、科目は一般受講者の希望に添い、廣く職業教育から、家庭教育趣味の教育等あらゆる部門に至り、おの〳〵斯道の權威者が講師として委囑される、期間は一期を六週間とし毎夕六時乃至八時から二時間宛教授されるが、公民館では開校に先立ち縣下隨一の折紙が附されている郡山成人学校を視察、同校が一般教養學科から、自動車運轉、ダンスからラヂオ科園碁科、將棋科等迄やつて非常な成績を擧げているところから、開校前先づ受講者一般に希望科目選定の事前調査を行い、廣く希望科目を採擇の上實質的な効果を擧げることに努力している

縣勞働委員の就勞視察

縣川崎勞働部長、樋口職安課長、並びに赤津庄兵衛、田畑金光、助川、物江、鈴木等縣議の勞働委員十五名は十九日失對事業調査の爲小名浜着小名浜—新潟線渚—岡小名の道路工事現場、第二中學校建築工事の場所等を視察の上日本水素に至り勞組幹部と勞働問題、税金問題等に關して懇談會を開催した

なお一行十五名は二十日午前九時植田職業安定所を訪問、小松安定所植田分室主任の案内で山田村鮫川護岸工事及び勿來町大日本炭礦を視察し勞務者の就勞状況を調査した

平新聞発足 社長は松崎氏

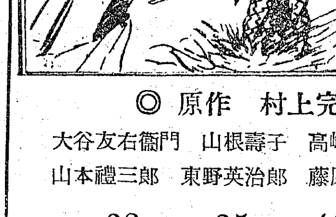
休刊中の僚紙磐城毎日新聞は平新聞と改題新たに松崎喜一氏が社長として新發足することとなつた

天氣豫報

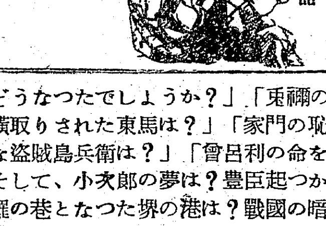
（本日）南よりの風雲り薄日模樣の天氣ですが一時俄雨がありましよう（海上）はおだやかですが霧がかりませう

◎待望の續篇遂に登場！愈々興味最高潮！◎

天下無敵！一世の美剣士小次郎の剣と戀の綾模樣.



續 佐々木小次郎



東宝 森田プロ作品

◎原作　村上元三　巨匠　稻垣浩　監督◎

大谷友右衛門　山根壽子　高峰秀子　浜田百合子　月形龍之助　徳大寺伸
山本禮三郎　東野英治郎　藤原釜足　戸上城太郎　上田吉二郎　清川荘司　主演

23日—25日＝(3日間)　磐城座

前篇に残された課題「まんを失つた小次郎はどうなつたでしようか？」「兎禰の戀は？」「琉球の王女・奈美の戀は」「許嫁を横取りされた東馬は？」「家門の恥と小次郎を追う兵介は？」「忍術を使う不思議な盗賊島兵衛は？」「曾呂利の命を受けて小次郎の命を狙う邪剣の鬼・甚内は？」そして、小次郎の夢は？豊臣起つか？徳川起つか？海賊那智丸の襲撃を受けて阿修羅の巷となつた堺の港は？戰國の暗雲を衝いて、波瀾又波瀾！愈々興味最高潮！

社會黨執行委を開催 淺沼書記長來平

時局演説会に出席

日本社会黨常磐地方協議会では来る廿四日、平市勞働会館に於て濱三郡執行委員會を開催する事に決定、廿五日時局演説会出席の爲來平の淺沼書記長、松井政吉代議士らを圍み、平和四原則に対する検討、自治警の存廢と警察法の改正問題に対する検討、選擧肅正運動に対する方針、並びに農業委員の選擧対策等に就いて愼重検討する、なお翌廿五日は淺沼書記長、松井代議士、田畑金光縣議、小野幸次郎小名浜支部長大河原一次常磐炭鑛執行委員長等、日本社会黨の錚々たる面々が平公会堂に於いて時局批判演説会に華々しい言論の花を咲かせる

植田で合同警備訓煉

植田地區署、全自治署、錦、勿来の兩自治署は二十一日午後一時より植田中学校グランドに於て田村植田地區署長の指揮のもとに警備訓練を行い、連絡警備の萬全を期する体勢を整えた

湯本レク部强化

保育と教養の方針決定

湯本町レクリエーション部会打合会は十九日午後二時から公民館で部員の外、教養部、圖書部、總務部の各部長も出席して開催した

案件としては
◎從來町にあつたレクリエーション協會との關連をどうするか
◎部としての活動方針、分野をどのようにするか

について協議した結果、主として体育方面をレクリエーション部で主催なし、其の他は教養部で主催することに決し、もし体育中心とすればその活動の分野に從がつて卓球部とか劍道部とかを設けることになつた　同部予算は秋の町民体育大会、劍道、卓球、其の他講習會の予算として十五万四千円、設備品費として三万九千二百五十円を計上し同部の强化をはかることになつた

錦の空豆東京市場へ

錦町農協は數年前より空豆栽培の有利なる事に着目して研究を重ねていたが本年は五千貫を收納して東京市場に送ることになつた　なお農協では空豆栽培を擴張して數年後には日本有數の空豆の產地となるよう努力している

アブレ解消一時的

枠外就勞は田植に出動

小名浜町に於ける失業對策事業枠は去る十五日より三十名が增加され百名となつたが一部に報道された如く果してアブレは完全解消したか、其實狀を調べると小名浜町失業登錄者は二百三十名であり今回の枠增大により百名となつても、尙百三十名が就勞外となつて居り依然アブレは解消していない、但し現在施工中の工事は第二中学グランド整地と渚一岡小名道路（通稱御代坂）改修工事で前者に四十名後者に六十名が就勞、他は農家の田植手傳として八、九十名が出ているため一應アブレは無い形を呈しているが臨時的のもので解消とは見なし難い狀況にある

鐵道電線切断

十九日朝赤井村西小川地內の磐越東線赤井ー小川鄉間鐵道電信線七百五十米が何者かのために切斷盜まれているのを發見した

氷の値下 但し漁業用

小名浜地區漁業組合では昨二十日より漁業用氷の販賣價額を左記の通り改正した
一本二三〇圓（舊價二五〇圓）、一〆當り一〇円（舊價一五円）碎氷代三〇円（從前通り）

役場と旅館組合の野球

湯本町役場対旅館組合野球大會は十九日午后五時から湯本中校庭で開催したが十對八で役場チームに凱歌があがつた

湯本中学で ユニホーム新調

湯本町中學校野球部後援会では來る三十日常磐中で行われる中學校野球大会に出場する選手のユニホーム等一揃を新調することになつた

苗木を寄贈

湯本町小学校では十八日校醫織內平八博士から正木の苗木約四百本を寄贈されたので生徒を動員して學校外、校庭、登校路を綠化することになつた

訂正

昨二十日掲載記事中に小名浜町林城永井直良さんが投身自殺したとあるは仝氏の義母アキ（八四）さんの誤りにつき訂正致します

電話架設はうそです

電話局で注意を喚起

去る九日國会を通過した電話設備費臨時措置法施行（七月一日）を前にしてこれを種に契約金をせしめようとする詐欺漢が各地を横行している　同法は最近の資材不足と價額高騰のため從來の電話新設費四千三百圓を二萬円に改正したものであるが、この事情に通じた者が七月前に加入申込みをすれば一萬圓程度で架設すると電話局員を裝い言葉巧みに持ちかけ契約金を受け取つている、これに就き小名浜電報電話局では法律改正を種に契約金を取つている男のある事は耳にしているが誠に迷惑な話で局としてはその様な勸誘はして居らず又新加入の申込がみあつても現在小名浜は余裕がないので總べてお斷りしている、若し其樣な話があれば僞局員ですから充分御注意下さい

手配の高村

一ノ関で捕る

住所不定高村時夫、近藤勇の兩人は、小名浜町丸政漁業部比佐政種氏所有船舶のスクリュー三個四十五貫並びはオーターポンプメタル等を窃取指名手配中のところ岩手縣一ノ關署に同人等が逮捕され二十日午前二時身柄を小名浜町署に送還取調中

錦、澤渡の選管を表彰

石城地方町村選擧管理委員会連合会では十九日午前九時より平市役所会議室に於いて二十六年豫算、行事等を審議した、次いで過般行われた地方選擧に際し九九、八%の錦町と九八、九%の澤渡三坂組合村の投票率をあげた好成績に対して兩町村の選擧管理委員会を表彰した

底曳整理と船員

鈴木局長を圍み座談會

東北地方船員勞仂委員会事務局長鈴木信治氏は一昨二十日午後三時より東北海運局小名浜支局に於て以東底曳漁船の整理に件う船員の配置轉換に就き業者と懇談した、同委員会として底曳船の減船に件う離職船員に対しては現給與の二ケ月半分を政府で補償し、優秀船員は國費にて再教育を施し海上勞仂資源の確保に努力する線に副い各種運動を展開する意向を持つ模樣である、水產廳の計畫による底曳船整理の對象になると一應豫想される縣下の漁船は大型無許可船五〇隻七百五十名、十五屯以下の小型船五十隻五百名計千二百名前後の離職船員の発生する事が推察され今後これに対する措置が注目されている

『作文』修學旅行 〃日光に行きて〃 ①

湯本中三ノ一　南雲明久

列車内のスピーカーから歡かな聲が流れ出ている　それは今、目の前に見える莊嚴な杉並木を說明しているのだ、「皆樣只今右手に見えるのが川越の城主松平正綱公が寄進された有名な杉並木であります、これは栽植してから既に三百年、宇都宮、鹿沼、会津の三街道を合せて延々四十粁現在一萬五千本に及ぶもので當時は……」と聲はまだ〱續く、もう日光も近くなつた樣だ、皆んなとそろ〱降り仕度を始める、ゴーッと汽車は勢いよく憧れの日光驛へ入つた、先ず忘れ物はないかよく座席を見る、それよりも早くおりたい氣持でうず〱しながら飛び立つようにプラットホームにかけおりた、ホームは大變な人でおし合い出ることも出來ない有樣だ、後方にいては何時出られるのか氣が氣でない、皆んなが一列にならべば順々に出られるのにと思つているうちに「早く出ろ」とどなられてしまつた　皆は前に出てしまつて二三人になつているのだつた、慌てゝ改札口を出ると先ず驚いた事は団体客の多い事で、すぐ目の前にも汽車を待つ高校生の一群がいた、荷物を置いて休んでいると集まれの聲がかゝつた、急いで行くと湯本はこの次の電車だから少し休憩をすると言う事だつた、僕達は喜んでおなかも減つている事でもあり御飯を二、三人で食べ始めた、間もなく又「あつまれ」と呼ぶ聲がした　折角食べ始めた御飯を急いでしまい、かけ足で集合した、少し待つうちに僕達の乘る有名な日光觀光電車がきたがおそろしく貧弱なものだ、やつと乘り込んだ電車はガツタンゴツトンとようやく動き出した、僕は幸い席があつたのでよかつたが立つていた人は隨分疲びれたことゝ思つた、この町には日本人だけでなくアメリカや其の他各國の人々も見物に來ているが、その人達もとの電車に乘り、どんな感じをもたれるか、日光だけの恥ではなく日本國全体の恥にもなる、先ず第一に電車を改良すべきであると思つた、この電車の途中で神橋をみた、この橋は日光山內社寺の入口大谷川の清流に架けられた聖橋で今改修中のためよく見えなかつた　ここを過ぎると東照宮の入口である、皆どや〱と喜び勇さんで降りた、この町外には案內の人が待つていて二四の旗を持つた人が一組の案內をしてくれる事になつた　まつすぐ東照宮に行くのかと思つたら途中で女子と別れて一軒の休憩所に入つたとゝで晝食をとつたがのどがかわいて仕方がないのでお茶を何ばいものんだ、やがて荷物をとゝにならべてすぐ外へ出なさいと先生が言われたので荷物を置きすぐ外にならんだ　最初に三佛堂を見物したこのお堂は輪王寺の本堂で間口三〇米奥行二五米の銅瓦葺總朱塗日光山第一の大伽藍で三体の御佛像には驚いた、全身金色でまばゆいばかりであつたなお堂の前には天然記念物の金剛櫻があるとゝを出て後に行くと慈眼大師の建立になる相輪堂がある、上部には金鈴三十四個が附けられ境內第一の供養塔であるそうだ、相輪堂のすぐわきには支那二十四孝の傳説を銅版毛彫にしてある燈籠があつた　（續く）

魚菜市況 21

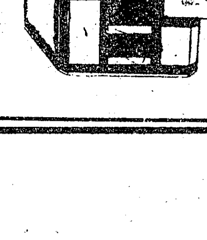
（小名浜中央青果市場）休み
（魚市場）たなご三〇〇たこ九〇〜一〇〇、さめさ三〇〜三五、えび七五〇〜九五〇、なめた一〇〇、ぎす六〇〜七〇、小赤じ七五、やり四〇〇、水たら四〇、めかじ二〇〇〜五〇〇、平目三六〇いなだ二五〇、すずき四〇〇〜四三〇

水飴の買い時は今です
六月一日から一罐二百十九円餘の物品税が課せられました。原料高と採算割で各地業者は製造中止です。品薄先高です。
一、二、三級の各種メーカー品あり
御照會下さい。配達致します
小名浜町本町　柳内佳門

◎漁船電機の革命◎
自動電壓調整器
完璧の新製品
蓄電池不用
經費節約
大洋電機代理店
川崎重工業代理店
スマヤ電機
小濱電機工業所
小名浜町駅前（電一五九）

産婦人科
外科
性病科
レントゲン
久保田醫院
院長　久保田眞
副院長　久保田眞一
小名浜町横町
電話二十二番

◎良質安価をモットーとせる
御家庭の必需品！
花かつを
製造元　二幸商会
小名浜町定西　電二四〇

新案特許　東和カマド
珪藻土製品の最高峰!!
驚く程燃料のいらない
火力强大！
保溫絶大！
時間經濟！
簡便重寶！

浜三郡發賣元
榮屋商店
小名浜町古港　電話三番